

秋吉台

—美祢市自然保護協会だより—

広報 第11号

発行日：2016年3月1日

発行者：美祢市自然保護協会

美祢市立秋吉台科学博物館内

TEL:0837-62-0640

Mine秋吉台ジオパーク認定おめでとう

2015年9月4日(金)の第24回日本ジオパーク委員会において、Mine秋吉台ジオパークが日本ジオパークとして認定されました。認定にあたっては、市民が地域資源の価値をきちんと認識し、保全や調査・研究に関わっていることや、小学校における地域学習や市民向けの講演会など、ジオパークを取り入れた教育活動が行われていることなどが高く評価されました。

一方で、ジオガイドの養成をはじめとするジオパークを活用した観光の環境整備や、保全に関する総合的な計画の策定など、より良いジオパークを目指すための課題が指摘されました。このような課題に取り組みながら、ジオパーク活動が継続して行われているかどうかは、4年ごとに行われる再審査で判断されます。つまり、今回の認定は活動のゴールではなく、スタートなのです。

美祢市のジオパーク活動は「美祢市の自然や文化を次世代、その次の世代へと遺すこと」も大きな目的です。一人ひとりができるこを行い、みんなで協力し合って活動を進めていきたいと思っておりますので、貴協会会員の皆様の積極的な参画をお待ちしております！

Mine秋吉台ジオパーク推進協議会

秋吉台の絶滅危惧種



ムラサキ(紫) ムラサキ科

環境省のカテゴリー 絶滅危惧 I B類
山口県のカテゴリー 絶滅危惧 I A類

根を紫根と呼び、紫色の染料として用いられた。万葉の時代の紫は高貴な色として扱われ、紫草の生える原野は野守により守られていた。

資料提供 松井茂生

会員研修～姫島～



平成27年10月21日(水)
会員40名参加

火山活動によってできた火山島、大分県の姫島を視察しました。姫島は平成25年9月に日本ジオパークに加盟認定されています。当日は晴天に恵まれ、おおいた姫島ジオパーク学芸員の説明を受けながら、国の天然記念物に指定された黒曜石産地の觀音崎や、瀬戸内海を一望できる姫島灯台など、島の見どころを巡りました。北の地からフジバカラの花の蜜をもとめて飛来したアサギマダラが乱舞する姿を見られ、大変感動しました。

昼食の姫島名物「車えびの塩焼き」はとても香ばしく絶品でした。



役員研修～美祢市～

平成27年11月17日(火)
役員14名参加

地元の自然をもっと知ろうという目的で、講師に秋吉台科学博物館の藤川学芸員を迎えて、役員研修を行いました。あいにくの天候でしたが、Mine秋吉台ジオパークのジオサイトである万倉の大岩郷、平野の正片麻岩などを視察し、参加した皆さんには学芸員の説明を熱心に聞き入っていました。普段見慣れている景色がどうやってつくられたのか、改めて美祢市のもの自然の魅力に気づくことができ、自然保護に対する意識を高めるとても有意義な研修となりました。



会員募集中

みんなで美祢の自然を
守りましょう

美祢市自然保護協会は、国定公園、特別天然記念物秋吉台を核とし、その周辺の自然に親しみ、調査研究して自然保護に努めるとともに、自然保護思想の普及を図ることを目的として設立され、啓発・自然保護活動などを展開しています。

○入会費無料

○年会費：個人 300円
：団体 2,000円

お申込みは秋吉台科学博物館
(TEL:0837-62-0640)まで

くわしくは、ホームページをご覧ください

秋吉台憲章

秋吉台の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。

秋吉台の自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。

秋吉台の自然を正しく利用し、人との共生をはかろう。

秋吉台の自然を守るために、一人ひとりが積極的に行動しよう。

秋吉台の自然、景観、歴史・文化を後世に末永く継承しよう。

ホームページをリニューアルしました
詳しくはWEBで！

美祢市自然保護協会

検索

<http://www.cable.ne.jp/~sizen35/>

●新種の植物「アキヨシミミナグサ」の発見●

今から25年前のこと、秋芳町の多賀谷三枝子氏により美東町長登銅山跡で小型のミミナグサが発見された。その当時は生育地が長登、鳶の巣、浜の宮山の銅鉱山跡地に限定されているため、銅の有害物質が影響して小型化しているのか、あるいは伊吹山のコバノミミナグサが鉱山師たちによって持ち込まれ変異しているのではないかと思われていた。平成18年に、山口県立博物館の嶋村拓実氏より「山口県の自然」にコバノミミナグサとして発表された。しかし、コバノミミナグサは花糸(雄しべの柄)や花弁の基部に長毛が生えるのが特徴だが、数多くの長登のミミナグサの花糸や花弁を実体顕微鏡で調べても長毛は見当たらず、やはり違うのではないかと疑問が生じていた。

平成26年10月、国立博物館の門田裕一氏がアザミやトリカブトの調査で来県された時に長登のミミナグサを見て頂いた。その時、長登のミミナグサはコバノミミナグサとは違うのではないかとのことであった。それから本格的に調査をすることになり、門田氏の助言を受けながら、こちらから季節ごとの秋吉台産のミミナグサの標本や詳細な画像を送り調べて頂いた。門田氏も国立博物館所蔵のミミナグサ属の標本や国内外の文献を詳細に調べ、秋吉台産のミミナグサとの比較のため伊吹山にも山向きコバノミミナグサを現地調査された。その結果、ミミナグサ属が銅鉱山跡地に生育するという報告はこれまでなく、秋吉台産のミミナグサは極めて特異な環境に生育するミミナグサである。又、ミミナグサ属の染色体数についてもこれまでの



▲調査中の国立博物館・門田氏

個体と異なり、秋吉台産のミミナグサの場合は染色体数 $2n=70$ であった。他のコバノミミナグサやホソバノミミナグサなどのミミナグサ属と比較しても特徴が異なるとのことであった。以上のことから、秋吉台産のミミナグサを新種の「アキヨシミミナグサ」として、門田氏により昨年の10月に植物研究雑誌へ発表されたのである。

現在、アキヨシミミナグサは長登、鳶の巣、浜の宮山、薬王寺の銅鉱山跡地で生育を確認している。

松井茂生

〈平成27年度〉—自然保護啓発作品入賞者—

書道の部 応募総数200点（小学校187点、中学校13点）

ポスターの部 応募総数82点（小学校45点、中学校37点）

| 小学校 | |
|---|---|
| 低学年 | 高学年 |
| <td>金賞 大嶺小学校 4年 一倉 来瞳 銀賞 別府小学校 4年 秋山 奈穂 大嶺小学校 4年 松本 光希 銅賞 秋吉小学校 3年 前田 亜美 大嶺小学校 4年 小川 大翔 大嶺小学校 4年 重藤 友美</td> | 金賞 大嶺小学校 4年 一倉 来瞳 銀賞 別府小学校 4年 秋山 奈穂 大嶺小学校 4年 松本 光希 銅賞 秋吉小学校 3年 前田 亜美 大嶺小学校 4年 小川 大翔 大嶺小学校 4年 重藤 友美 |
| <td>金賞 伊佐中学校 2年 西村 琴葉 銀賞 於福中学校 2年 松井信一朗 於福中学校 3年 平佐 智月 銅賞 秋芳南中学校 3年 岡崎さくら 伊佐中学校 3年 阿部 孜乃 於福中学校 3年 南 姫伽</td> | 金賞 伊佐中学校 2年 西村 琴葉 銀賞 於福中学校 2年 松井信一朗 於福中学校 3年 平佐 智月 銅賞 秋芳南中学校 3年 岡崎さくら 伊佐中学校 3年 阿部 孜乃 於福中学校 3年 南 姫伽 |

| 小学校 | |
|--|--|
| 低学年 | 高学年 |
| <td>金賞 重安小学校 3年 西村 優華 銀賞 別府小学校 4年 林 結衣 別府小学校 4年 森永 雄大 銅賞 於福小学校 3年 井上 陽太 別府小学校 4年 豊田 侑生 大嶺小学校 4年 松本 光希</td> | 金賞 重安小学校 3年 西村 優華 銀賞 別府小学校 4年 林 結衣 別府小学校 4年 森永 雄大 銅賞 於福小学校 3年 井上 陽太 別府小学校 4年 豊田 侑生 大嶺小学校 4年 松本 光希 |
| <td>金賞 伊佐中学校 1年 田中 大己 銀賞 美東中学校 1年 岩間 千里 大嶺中学校 1年 南部 夕渚 銅賞 大嶺中学校 1年 木附 瞳 大嶺中学校 3年 河内 泰志 伊佐中学校 3年 阿部 琴乃</td> | 金賞 伊佐中学校 1年 田中 大己 銀賞 美東中学校 1年 岩間 千里 大嶺中学校 1年 南部 夕渚 銅賞 大嶺中学校 1年 木附 瞳 大嶺中学校 3年 河内 泰志 伊佐中学校 3年 阿部 琴乃 |

全ての入選作品を、当協会ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。